

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
人権教育論			11373	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長			

授業の到達目標

人権教育の基本的な概念を学習し、人権感覚を高め人権学習の実践力を養う。そして学校での人権学習の具体的な指導法を考察する。さらに人権学習の指導案を作成し実践的な模擬授業を経験する。このクラスではKAISEIパーソナリティーⅠ（知性）を養い、プレゼンや模擬授業、ロールプレイを体験する過程でK（思いやり）の諸能力を生かします。

授業の概要

毎回配布するレジメ・資料を中心に授業を進める。人権感覚を磨く方法や、人権教育の在り方について考察し、実際の取り組み方を学ぶ。

授業計画

- 1 人権とは(人権感覚、考え方)
- 2 偏見と差別
- 3 人権・同和教育とは
- 4 人権尊重の教育
- 5 子どもの人権Ⅰ(虐待、体罰、子どもの安全)
- 6 子どもの人権Ⅱ(いじめ、不登校、権利条約)
- 7 学校における人権学習Ⅰ(学習権、個性)
- 8 学校における人権学習Ⅱ(複数指導、生活科)
- 9 人権教育指導実践Ⅰ(項目別)
- 10 人権教育指導実践Ⅱ(資料研究)
- 11 人権教育指導実践Ⅲ(人権ゲーム、ロールプレイ)
- 12 阪神淡路大震災と人権
- 13 人権学習のコラム
- 14 諸外国の人権教育事情
- 15 人権教育の課題、まとめ

授業の方法

講義を中心に、事例検討やグループワークなども行う。

準備学修

世界中で報道される人権問題に関心を持っておくこと。毎回配布されるレジメやプリントをファイルし、講義メモを添えて整理保存

すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届け出ること。

テキスト

参考図書

授業の中で適宜紹介します。

留意事項

ロールプレイやゲーム等で人権感覚を磨く訓練をします。毎回の授業の記録ファイルを最後に提出してもらいます。

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会科学概論			11377	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
尾崎 秀夫	選択	2	私立中学校教員(社会)、私立高等学校(世界史)			

授業の到達目標

本授業では、歴史学のあり方について学ぶ。歴史は小学校から高校まで必ず学ぶ科目であるが、暗記科目と見られることが多い。歴史学者が史料に基づいて如何に過去を明らかにしていくかを体験させる。この授業では、KAISEIパーソナリティーのI（知性）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

歴史は決して暗記科目ではなく、史料に基づいて過去を再構成していく営みである。先行研究の成果である通説と対峙しつつ、修正・変更を加えて新しい通説を構築していくのが歴史学の進歩である。本授業ではヨーロッパ中世の開幕に関する諸説を、ピレンヌ理論を中心に紹介し、そのような歴史学の営みを受講生に体験してもらいたい。

授業計画

- 1 はじめに、歴史学とは何か
- 2 古代ローマの歴史(ポエニ戦争まで)
- 3 古代ローマの歴史(帝政開始まで)
- 4 古代ユダヤの歴史(イエスの誕生まで)
- 5 ローマ皇帝のキリスト教迫害の通説
- 6 ネロの迫害
- 7 ドミティアヌスの迫害
- 8 トラヤヌスの勅令
- 9 1, 2世紀の迫害の実態
- 10 アントニヌス勅令
- 11 軍人皇帝時代の迫害
- 12 ディオクレティアヌスの戦い
- 13 ミラノ勅令
- 14 キリスト教の国教化
- 15 まとめと試験

授業の方法

講義、討論、演習形式。

準備学修

授業内容の背景を知るため、高校の世界の教科書の古代ローマ帝国から中世ヨーロッパの成立、カールの戴冠あたりを読んでおくこと。(60時間)

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

通常欠席が5回を超える場合は受験資格を認めない。

テキスト

テキストは特に定めない。随時、史料のプリントを配布。

参考図書

とくに指定しない。

留意事項

私語は慎み、求められたときは積極的に発言すること。

教員連絡先

ozaki@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
外国語教授法			13745	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
後藤 江里	選択	2	インターナショナルスクール幼稚園教諭・保育士			

授業の到達目標

本講義では、グローバル化に対応した英語教育改革のゴールを考え、小学校から中学校・高校への英語学習・指導の知識、授業指導、学習評価の連携が図れる「外国語教授法」のあり方を考える。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

日本では、英語学習に相当な時間と労力を費やしている。英語がペラペラに使える人は多くはないが、日本語がペラペラに出来ない日本人はいない。外国語教育を成功させるための秘訣とは何か？ 本授業では、小学校英語教科化を見据えた外国語教育のあり方そのものを考える。外国語教授法の理論と指導法の実践を学習し、指導者側における効果的な外国語教授法、そして、学習者側においては効果的な外国語学習法の理論と実践状況を学ぶ。

授業計画

- 1 小学校英語教育
- 2 言語習得理論
- 3 教授法の理論的背景(1)
- 4 教授法の理論的背景(2)
- 5 発表(1) All in Englishでの授業
- 6 教授法の理論的背景(3)
- 7 教授法の理論的背景(4)
- 8 4技能(1)
- 9 4技能(2)
- 10 発表(2) リスニングとスピーキングの授業
- 11 4技能(3)
- 12 4技能(4)
- 13 発表(3) リーディングとライティング
- 14 評価
- 15 これからの小学校英語 中学・高校との連携

授業の方法

教授法の理論と実際の授業での応用から、理論と実践の融合を体験する

準備学修

項目・内容について下調べをしておくこと。テキストの該当章を読んでおくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

授業時に、講義内容に関するレポートを提出、プレゼンテーションを行う。評価の対象とするので、公欠などの連絡を必ずすること。

テキスト

小学校英語の教育法 ー理論と実践 アレン玉井光江 大修館書店

参考図書

現代英語教授法総覧 田崎清忠編集責任者 大修館書店

留意事項

参考図書、参考文献をあらかじめ読んでおくこと

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論(中高)			13809	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長			

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を学ぶ。教員の資質能力と職務内容について身に着けることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

学校教育や教職の在り方について理解し、教員の資質や能力の向上、研修方法について学ぶ。さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の公教育の意図を考察する。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義(学校制度の変遷・公教育の目的・学校の組織・教職員研修)
- 2 教育を取り巻く今日的課題
- 3 新学習指導要領がめざすもの ～外国語教育～
- 4 新学習指導要領がめざすもの ～道徳教育～
- 5 生徒指導
- 6 いじめ問題・情報モラルセキュリティ
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教員の服務と義務・働き方改革
- 9 人権教育・教員の人権感覚
- 10 特別支援教育・インクルーシブ教育
- 11 安全・防災教育と危機管理について
- 12 特別活動
- 13 キャリア教育と進路指導・総合的な学習(探求)の時間
- 14 校種間連携・地域連携・チーム学校
- 15 「評価」について・まとめテスト(小論文)

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。また考察シートやレポートにより自己の考えを深めたり、知識の定着を図ったりする。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、教育関連の情報を

積極的に収集すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領(平成29年告示)」(文部科学省)

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回、授業のレジュメや資料を整理保存し、最後に講義メモを添えて提出してもらいます。

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論 (キッズ)			13809	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長			

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を学ぶ。教員の資質能力と職務内容について身に付けることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

学校教育や教職の在り方について理解し、教員の資質と能力の向上、研修方法について学ぶ。さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の公教育の意図を考察する。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義(学校制度の変遷・公教育の目的・学校の組織・教職員研修)
- 2 教育を取り巻く今日的課題
- 3 新学習指導要領がめざすもの ～外国語教育～
- 4 新学習指導要領がめざすもの ～道徳教育～
- 5 生徒指導
- 6 いじめ問題・情報モラルセキュリティ
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教員のサービスと義務・働き方改革
- 9 人権教育・教員の人権感覚
- 10 特別支援教育・インクルーシブ教育
- 11 安全・防災教育と危機管理について
- 12 特別活動
- 13 キャリア教育と進路指導・総合的な学習(探求)の時間
- 14 校種間連携・地域連携・チーム学校
- 15 「評価」について・まとめテスト(小論文)

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。また考察シートやレポートにより自己の考えを深めたり、知識の定着を図ったりする。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、教育関連の情報を

積極的に収集すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領（平成29年告示）」（文部科学省）

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回、授業のレジュメや資料を整理保存し、最後に講義メモを添えて提出してもらいます。

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育・学校心理学	ET		13815	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、学校心理士SV、公立小教員			

授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方を理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す

授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を心理学的な切り口で捉える。子どもの健やかな成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバークの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に応じた適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

学内規定に準ずる

テキスト

濱田誠二郎著『心理学を生かしたクラスづくり』 株式会社ERP

参考図書

授業中に紹介する

留意事項

マスコミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

教員連絡先

shamada@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法 (中高)			13854	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長			

授業の到達目標

教育課程の意義や編成の方法を学び、カリキュラムマネジメントの重要性を理解する。また、教育課程における総合的な学習の時間の位置づけや意義を理解し、指導計画の作成の仕方を修得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのI（知性）とK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

教育課程の果たす役割や機能、意義を理解し、公的な性格を有する学習指導要領を学ぶ。さらに、学習指導要領の歴史的な変遷や諸外国との教育制度の比較から、現在の教育課程の意図を考察する。そして、教育課程における「総合的な学習の時間」の模擬編成に取り組む。

授業計画

- 1 はじめに、教育課程とは
- 2 教育課程に関する法律
- 3 教育課程の歴史(学習指導要領の変遷)
- 4 総合的な学習の時間について
- 5 総合的な学習の時間の実践事例Ⅰ
- 6 総合的な学習の時間の実践事例Ⅱ
- 7 総合的な学習の時間とカリキュラムマネジメント
- 8 地域社会との連携と総合的な学習の時間のあり方
- 9 各学校種における教育課程(幼稚園、小学校)
- 10 各学校種間における教育課程(中学校、高等学校、特別支援学校)
- 11 教育課程の編成と評価
- 12 学校種間の連携・部活動と教育課程
- 13 今日の課題と教育課程
- 14 諸外国の教育課程(欧米・中・韓)
- 15 教育課程の模擬編成演習とプレゼンテーション、まとめ

授業の方法

毎回レジメを配布し、授業を行う。

準備学修

図書館等で、日本や諸外国の教育制度等の参考文献を調べておく

課題・評価方法、その他

平常点(70%)、定期試験(30%)

欠席について

事前、事後に届け出る

テキスト

中学校学習指導要領解説(総則編)最新版
中学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)最新版

参考図書

今、求められる力を高める総合的な学習の時間(小)文部科学省編
教育出版

今、求められる力を高める総合的な学習の時間(中)文部科学省編
教育出版

今、求められる力を高める総合的な学習の時間(高)文部科学省編
教育出版

留意事項

配布したレジメや資料をファイルしておく

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育方法論	ET		13851	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
堀 正人	選択	2	神戸市教育委員会指導課指導主事 文科省中央教育研修会参加、文科省海外派遣教員			

授業の到達目標

子どもたちに求められる資質・能力を育成するための教育の方法、子ども理解、教育評価等について学修し、授業の設計技術を修得する。さらに、多様な教材の活用を通じて授業展開の方法を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティーのA（自立）とI（知性）を養う。

授業の概要

学校教育の理念に基づいた教育を実践するための方法や知識を身に付け、基礎的な学習理論と指導技術を学ぶ。

授業計画

- 1 教育方法論の歴史
- 2 カリキュラム論
- 3 学習指導要領について
- 4 教育課程と教科外(総合的な学習の時間、特別活動)の授業の役割
- 5 教科書と学校教育の関係
- 6 授業の構造論
- 7 学校における集団学習の意義と方法(組織、計画、指導体制)
- 8 教育技術論
- 9 情報教育の内容と構成について
- 10 授業の方法と実践について
- 11 学力と教育評価について
- 12 特別支援教育
- 13 授業実践と考察(道徳・人権)
- 14 子どもの人権(虐待、いじめ、体罰、不登校)
- 15 学校教育の課題と考察・まとめ

授業の方法

毎回レジメを配布し授業を進め、レポート作成やロールプレイに取り組む。

準備学修

中学校学習指導要領(総則編)を読んでおくこと

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること

テキスト

なし

留意事項

授業中に配布した資料をもとに毎回レポートを作成する

教員連絡先

mhori@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
道徳教育指導論 (中等)	教職中等	13829	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長		

授業の到達目標

道徳教育の基本的な概念を学習し、道徳的な実践力を養う。さらに学校での道徳教育の指導法を考察し、道徳教育指導案の作成と授業を経験する。このクラスではKAISEIパーソナリティーI (知性) を養う。

授業の概要

道徳の意義や原理を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、多様な道徳教育の指導法を学修し、実際の教科書を使用して指導案検討を行う。さらに、今後の道徳教育の在り方について考察し、実際の取り組みについて学ぶ。

授業計画

- 1 道徳教育の目標・特別の教科 道徳
- 2 道徳の歴史
- 3 「中学校学習指導要領 道徳編」を読む
- 4 道徳教育と国際理解教育
- 5 諸外国の道徳教育の状況
- 6 道徳科の指導
- 7 読み物教材の指導案検討
- 8 モラル・ジレンマ
- 9 いじめ問題を考える① ～いじめ防止対策推進法～
- 10 いじめ問題を考える② (指導案検討)
- 11 いじめ問題を考える③ (指導案検討)
- 12 情報モラル・セキュリティ (指導案検討)
- 13 安全教育
- 14 指導案の書き方のまとめとこれまでの復習
- 15 まとめテスト 提示された読み物教材について学習指導案を作成する

授業の方法

レジュメや資料を中心に授業を進める。指導案検討、発表も取り入れる。

準備学修

過去に学校で学習した道徳の時間や道徳的な行事を思い返しておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届けること

テキスト

文部科学省編「中学校学習指導要領解説(特別の教科道徳編)」最新版

参考図書

神戸市立中学校採用の道徳の教科書「中学道徳 あすを生きる」1・2・3・年用(日本文教出版)

留意事項

授業中に配布した資料をもとに、毎回レポートを作成します

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

資格科目〈英語・観光〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL 1	ET	13822	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	選択	2	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師		

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Test スコア500点到達を目指す。そのために必要な英語力(特にTOEIC必須表現)の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための基礎英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティーI (知性) を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。また知識固定の一助とするため音読にも力を入れる。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- 1 ガイダンス、【TEST 1 使用】Part 1 対策、Part 7 (1つの文書) 対策
- 2 Part 2 対策、Part 7 (1つの文書) 対策/単語テスト1
- 3 Part 2 対策、Part 5 対策/単語テスト2
- 4 Part 3 対策、Part 5 対策/単語テスト3
- 5 Part 3 対策、Part 7 (複数文書) 対策/単語テスト4
- 6 Part 4 対策、Part 6 対策/単語テスト5
- 7 Part 4 対策、Part 6 対策/単語テスト6
- 8 【TEST 2 使用】Part 1 対策、Part 7 (1つの文書) 対策/単語テスト7
- 9 Part 2 対策、Part 7 (1つの文書) 対策/単語テスト8
- 10 Part 2 対策、Part 5 対策/単語テスト9
- 11 Part 3 対策、Part 5 対策/単語テスト10
- 12 Part 3 対策、Part 7 (複数文書) 対策/単語テスト11
- 13 Part 4 対策、Part 6 対策/単語テスト12
- 14 Part 4 対策、Part 6 対策/単語テスト13
- 15 Part 7 (複数文書) 対策、期末試験

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

公式TOEIC (R) Listening & Reading問題集7 (IIBC)、TOEIC L&R TEST出る単特急金のフレーズ(朝日新聞出版)

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

・テキスト付属CDも用いて確実に復習すること。・英和辞書(紙版、電子辞書いずれでも可)を必ず持参すること。

教員連絡先

izumi@kaisei.ac.jp

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論 (小)			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長			

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を学ぶ。教員の資質能力と職務内容について身に付けることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

学校教育や教職の在り方について理解し、教員の資質と能力の向上、研修方法について学ぶ。さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の公教育の意図を考察する。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義(学校制度の変遷・公教育の目的・学校の組織・教職員研修)
- 2 教育を取り巻く今日的課題
- 3 新学習指導要領がめざすもの ～外国語教育～
- 4 新学習指導要領がめざすもの ～道徳教育～
- 5 生徒指導
- 6 いじめ問題・情報モラルセキュリティ
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教員の服務と義務・働き方改革
- 9 人権教育・教員の人権感覚
- 10 特別支援教育・インクルーシブ教育
- 11 安全・防災教育と危機管理について
- 12 特別活動
- 13 キャリア教育と進路指導・総合的な学習(探求)の時間
- 14 校種間連携・地域連携・チーム学校
- 15 「評価」について・まとめテスト(小論文)

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。また考察シートやレポートにより自己の考えを深めたり、知識の定着を図ったりする。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、義務教育関連の情

報を積極的に収集したりすること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出る

テキスト

「小学校学習指導要領（平成29年告示）」（文部科学省）

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回、授業のレジメや資料を整理保存し、最後に講義メモを添えて提出してもらいます。

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論 (幼保)			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

教職の意義や教員（保育者）の役割を理解する。接続する学校教育や教員（保育者）をめぐる今日的な課題と対応の事例などから学校教育に期待される役割や、今後の教員に求められる資質能力について学び自らの適性を見出す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

社会の急激な変化に伴い様々な課題に直面している学校教育や就学前教育の現状について詳述し、調査、発表の機会をもつ。チームとして諸課題に対応する学校の在り方や教員・保育士の職務内容、服務上や身分上の義務について理解し、自ら目指す教師・保育者像を明確にもつようにする。

授業計画

- 1 教職・保育者論の概要について
- 2 教職・保育職の意義
- 3 幼児教育と小学校教育
- 4 教員の歴史、女性と教職・保育職
- 5 学校園の組織と運営
- 6 教員(保育者)の職務内容
- 7 教員(保育者)に課せられる服務上・身分上の義務と身分保障
- 8 学び続ける教員(保育者)へ(教員・保育者のライフステージと研修制度)
- 9 国際化・情報化と教員(保育者)の役割
- 10 学校園における社会体験とキャリア教育
- 11 様々な問題行動とカウンセリングマインド
- 12 特別な支援を要する乳幼児への対応
- 13 学校(園)・地域・家庭の連携と役割
- 14 チーム学校(園)の意義と実際について
- 15 今後の教員(保育者)に求められる資質・能力(専門職としての教員)まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。またリフレクションシートや自修シート他の作成により自己の考えを深め、知識の定着を図る。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①リフレクションシートや課題レポートの提出を2回求め、講義中にフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

古橋和夫（編）『新訂 教職入門 未来の教師に向けて』2018年（株）萌文書林

参考図書

秋田喜代美、佐藤学編著『新しい時代の教職入門』改訂版 有斐閣
アルマ、文部科学省『小学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』、
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・
保育要領』

留意事項

保育士資格と幼稚園教諭免許の併有による「保育教諭」としての社会要請も高まりつつある。教員・保育士を目指す養成校の学生として意識を高くもって授業に臨んでもらいたい。

教員連絡先

mori@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
道徳教育指導論	教職小	17749	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	小学校校長		

授業の到達目標

小学校「特別の教科 道徳」の目標と内容、指導計画、学習指導法等について、基礎的な理論と指導技術を修得する。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とE（倫理）の育成を目指す。

授業の概要

道徳教育の目標と内容、授業方法、指導計画、資料の扱い方等、小学校における道徳の指導法を把握するための講義と演習を行う。また、学習指導案作成や模擬授業を通して、実践的な指導力を身に付ける。

授業計画

- 1 受講の心構え・授業内容についてのガイダンス、道徳教育の基礎理論
- 2 道徳教育の歴史
- 3 道徳性とは何か
- 4 道徳の目標と内容
- 5 道徳性の発達理論と道徳教育
- 6 道徳教育の計画
- 7 道徳科の学習指導
- 8 道徳教材の活用
- 9 道徳科における問題解決的な学習
- 10 道徳科における体験的な学習
- 11 道徳科の授業展開
- 12 道徳の評価
- 13 模擬授業(低学年)
- 14 模擬授業(高学年)
- 15 これからの道徳教育の課題

授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①指導案と模擬授業について、批評とアドバイスを行う。
- ②授業への参加度50%、定期試験50%とする。

欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

テキスト

柳沼良太『道徳の理論と指導法』図書文化社
文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』廣済堂あかつき

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

留意事項

出席と授業態度（模擬授業の準備や提出物を含む）を重視する。道徳の指導法を身に付けようとする意欲をもって授業に臨むこと。

教員連絡先

ogishi@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論（進路指導を含む）	教職小	17753	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
花房 雅剛	選択	2	公立小中学校教員		

授業の到達目標

小学校における生徒指導体制や指導方法、課題等を理解し、人権尊重の精神を根幹に据えた生徒指導と自己実現を目指す進路指導のあり方を学び、自己指導能力を育む教員としての実践力を身に付けることが到達目標である。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

今日的な生徒指導・進路指導の課題を学校現場の情報や新聞等の資料より把握し、『生徒指導提要』等に基づき児童の内面理解を基盤に据えた生徒指導・進路指導のあり方を考察する。

授業計画

- 1 生徒指導の意義と目的
- 2 教育課程と生徒指導
- 3 学校組織としての生徒指導
- 4 進路指導・キャリア教育と生徒指導
- 5 児童生徒理解を図る方法とその活用
- 6 学級担任としての生徒指導
- 7 集団指導と個別指導
- 8 教育相談の進め方
- 9 基本的な生活習慣の確立(学校・家庭・地域の役割)
- 10 学校と家庭・地域・関係機関の連携
- 11 生徒指導に関する法制度
- 12 問題行動の未然防止と早期発見
- 13 いじめと不登校
- 14 情報教育と生徒指導
- 15 まとめと定期テスト

授業の方法

講義とディスカッション

準備学修

webで参照すること

課題・評価方法、その他

平常点30%定期試験70%の割合で評価し、評価の観点は知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢等である。

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点

テキスト

文部科学省『生徒指導提要』に基づいた配布資料

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職実践演習 (中・高)	ET	14214	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
惣谷 美智子/松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長		

授業の到達目標

中学校又は高等学校の教師を目指す学生が、教職課程科目で学修した教科指導や生徒指導等の内容について実践することを通して、それらの知識及び技能を修得したことを確認する。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)、I(知性)、及びE(倫理)を養う。

授業の概要

中学校及び高等学校の教師として必要な知識や技能である(1)使命感・責任感・資質に関する知識、(2)社会性や対人関係能力、(3)教科の指導力について十分に修得できているかどうかをグループ討論、ロールプレイング、模擬授業で確認していく。また、実際の現場を見学することで、修得した知識・技能がどのように活用されているかをまとめる。

授業計画

- 1 イントロダクションーこれまでの学習や教育実習について(1)～講義、発表
- 2 教師としての使命感や責任感、資質について(1)～講義
- 3 教師としての使命感や責任感、資質について(2)～グループ討論
- 4 教師としての社会性や対人関係能力について(1)～講義とグループ討論
- 5 教師としての社会性や対人関係能力について(2)～ロールプレイング
- 6 生徒の理解や学級経営について(1)～討論
- 7 生徒の理解や学級経営について(2)～グループ討論
- 8 学級経営案の作成とグループ討論
- 9 学校現場の見学(1)～見学・調査
- 10 学校現場の見学(2)～教職経験者の講話とグループ討論
- 11 教科の指導力について(1)～講義
- 12 教科の指導力について(2)～グループ討論
- 13 教科の指導力について(3)～模擬授業とその振り返り
- 14 資質能力の確認・まとめ(1)～小論文とアンケート
- 15 資質能力の確認・まとめ(2)～講評

授業の方法

講義の中でグループ討論を行う。ロールプレイング、模擬授業も行う。

準備学修

今回のテーマに関するハンドアウトをあらかじめ配布するので、それを読み、その中に示されている課題を仕上げてくること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

出席点(100点満点)は全体の20%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

適宜、ハンドアウトを配布する。

参考図書

授業中に随時紹介する。

留意事項

教職に対する情熱をもって授業に参加・貢献する誠実な態度が必要である。実際の中学校を訪問し随時研修を行うので、平素から服装等に配慮すること。

教員連絡先

soya@kaisei.ac.jp
matsui@kaisei.ac.jp

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論	教職中等	14217	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭、中学校教頭、小学校校長		

授業の到達目標

生徒指導の理論と方法、教育相談、進路指導について学ぶ。この講座ではKAISEIパーソナリティのA(自律)でコミュニケーション能力を養い、事例研究の実践でK(思いやり:傾聴力)とI(知性)状況把握力を高める訓練をする。

授業の概要

教科書(文部科学省「生徒指導提要」)を参考資料として授業を進める。生徒指導の方法や生徒理解について考察し、実際の取り組み方を学んでいく。さらに、教育相談の手法を学び、進路指導、キャリア教育も生徒指導の視点から考察する。

授業計画

- 1 生徒指導の意義と目的
- 2 生徒指導と人権感覚
- 3 教育の現場から学ぶ
- 4 現場の教育実践から「生徒指導提要」を読む
- 5 生徒指導と児童生徒理解①～家庭的な背景～
- 6 生徒指導と児童生徒理解②～発達障害の理解・日本の特別支援教育～
- 7 生徒指導と児童生徒理解③～セクシャルマイノリティの理解～
- 8 青年期の心理と発達
- 9 個別の課題を抱える児童生徒への指導
- 10 生徒指導の基本
- 11 いじめ問題を考える①～いじめ防止基本方針～
- 12 いじめ問題を考える②～情報モラルセキュリティ～
- 13 安全教育
- 14 進路指導とキャリア教育
- 15 まとめテスト

授業の方法

レジュメに従って授業を行う。また、配布した資料をもとに事例研究を行い考察をする。

準備学修

テキスト「生徒指導提要」(文部科学省)を読んでおくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること。

テキスト

文部科学省編「生徒指導提要」最新版(令和4年改訂予定)

参考図書

随時、紹介する。

留意事項

授業中に配布した資料を基に考察し、毎回レポートを作成する。

教員連絡先

matui@kaisei.ac.jp